

株式会社マックアース

芸北国際スキー場

索道安全報告書

(2016年)



芸北国際スキー場

国際トリプルリフトA線 国際トリプルリフトB線

国際エクスプレス おーひらエクスプレス おーひら第1ペアリフト

平成28年度11月作成

1. 利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃よりご利用とご理解を賜り、誠にありがとうございます。

当社、株式会社マックアースは、「安全の確保」をその企業行動指針の第一として掲げ全ての役職員は行動しており、皆様に安心してマウンテン・レジャーを楽しんで頂けるよう、法令遵守とともに安全輸送に努めております。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、安全輸送の取組みと実態について、広くご理解いただくために公表するものであります。

皆様からの声に耳を傾け輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

株式会社 マックアース

代表取締役 一ノ本 達己

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下従業員に周知・徹底しております。

1. 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
2. 輸送の安全に関する法令及び関連する規程（本規程を含む。以下、「法令等」という。）をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
3. 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
4. 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをすること。
5. 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
6. 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
7. 常に問題意識を持ち、必要な改革に取り組むよう努めること。

(2) 安全目標

索道輸送安全目標は次表のとおりです。

今年度は、索道運転事故（人身傷害事故）の発生はなく、無事終了することができました。

引き続き従業員一同、安全意識の向上を掲げ、目標達成に向けて取り組む所存です。

区分	項目	内容
定量的な目標	索道運転事故	発生件数 0 をめざす

3. 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故（索道人身障害事故）

平成 27 年度、索道運転事故は 0 件。

(2) 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

平成 27 年度、災害による運航停止はありませんでした。

但し強風、雷による運航停止がありました。

日付	リフト名称	運航停止時間	原因
2016年1月23日	全リフト	全日	強風及び雷

(3) インシデント（事故の兆候）

平成 27 年度、国土交通省へのインシデント報告はありません。

(4) 行政指導等

中国運輸局鉄道部により実施した保安監査の結果、下記事項について、改善を指示されました。

- ① 救助装置について認可申請等書類から設置位置が変更されている為、認可申請等書類と運転取扱細則で定めている設置位置の整合が図られていないので、変更等必要な手続きを行う事。
- ② 停留場の保安設備操作スイッチについて認可申請等書類から増設されている為、保安設備操作スイッチの設置について、変更等必要な手続きを行う事。
- ③ 整備細則で定める接地抵抗検査の一部検査項目について測定値が基準値を超過している施設を確認がある為、直ちに施設を整備し適合確認を行う事。
- ④ 業務及び施設の保守に関する管理体制を改善する事。

上記①～④に関しては、手続及び整備を完了いたしております。

4. 輸送の安全確保のための取組み

(1) 人材教育

当スキー場では、お客様が安心してリフト（索道施設）をご利用していただけるよう、索道従事員に施設及び取扱いについての安全教育及び救助訓練を実施しています。

① 平成 27 年度 索道技術管理員講習会

- ・ 索道施設の保守管理(搬器編)



「実際の搬器・握索機による現地講習」



「実際の搬器・握索機による現地講習」

② 平成27年度芸北地区索道従事員研修

- ・ 索道係員の技術及び安全意識の向上
- ・ ヒヤリハット情報の重要性に関して
- ・ 心肺蘇生現場における対処法
- ・ AEDの使用方法



「索道係員の技術及び安全意識の向上」



「ヒヤリハット情報の重要性に関して」



「心肺蘇生現場における対処法」



「AEDの使用方法」

③ 平成27年度第1回自社索道従事員研修

- ・ 安全意識の向上
- ・ ヒヤリハット記入方法に関して
- ・ 国際エクスプレス予備原動機操作方法



「安全意識の向上」



「国際エクスプレス予備原動機操作方法」



「国際エクスプレス予備原動機操作方法」



「国際エクスプレス予備原動機操作方法」

④ 平成27年度第2回自社索道従事員研修

・おーひらエクスプレス予備原動機操作方法



「おーひらエクスプレス予備原動機操作方法」



「おーひらエクスプレス予備原動機操作方法」



「おーひらエクスプレス予備原動機操作方法」



「おーひらエクスプレス予備原動機操作方法」

⑤ 平成27年度第3回自社索道従事員研修

・救助用具の使用法の習得



「おーひら第1リフト 救助用具説明」



「おーひら第1リフト 保護網にて救助」



「おーひら第1リフト 3号支柱付近」



「おーひら第1リフト 3号支柱付近」



「国際トリプルリフト 救助用具説明」



「国際トリプルリフト 4号支柱付近」

⑥ 平成27年度第4回自社索道従事員研修

- ・おーひらエクスプレス 高所用救助用具の使用法の習得及び確認



「走行装置を搬器付近へ移動」



「係員搬器サスペンダーに到着」



「乗客救助」



「次の搬器へ移動」

(2) 安全のための整備

安全の維持・向上の為、通常整備のほか下記内容に関して施設の修繕・整備を実施致しました。

1) 国際トリプルリフトA線

- ① 握索機タンク交換(68か所)
- ② 握索機皿ばね自由長測定及び研磨、塗装
- ③ 終点起動案内放送スピーカー交換

2) 国際トリプルリフトB線

- ① 握索機タンク交換(17か所)
- ② 握索機皿ばね自由長測定及び研磨、塗装
- ③ 起点起動案内放送スピーカー交換

3) 国際エクスプレス

- ① 押送タイヤ交換 終点 8箇所
- ② 2号支柱、3号支柱、5号支柱 索輪ベアリング交換

4) おーひらエクスプレス

- ① 主電動機(No1,2)オーバーホール
- ② 主機冷却ファン(No1,2)オーバーホール
- ③ 索条切詰
- ④ 握索機ランニングローラー交換(30台)
- ⑤ 押送タイヤ交換 起点 6箇所 終点 12箇所
- ⑥ 押送Vベルト交換 起点 1箇所
- ⑦ 搬器間隔制御用速度検出装置交換
- ⑧ 起点場内ガイド輪(出発側2箇所)ゴムライナー交換

5) おーひら第1ロマンスリフト

- ① 乗場整備

5、当社の安全管理体制

